

足羽三ヶ地区 維持管理計画概要書
(当 初)

足羽三ヶ土地改良区

第1章 事業の目的

土地改良区域内全域の県営土地改良事業及び団体営土地改良事業等で造成された土地改良施設（用排水路・農道等）が常に良好な状態であるように維持管理を行い、農業経営の安定化を図ることを目的とする。

第2章 地域の所在と現況

地域 福井市： 小路町、中毘沙門町、南山町、安原町、脇三ヶ町

（詳細は一定地域調書に記載）

					R8.1.1現在
地積	市 町	田	畑	その他	計
	福井市	81.0 ha	-	-	81.0 ha
	合 計	81.0 ha	-	-	81.0 ha

第3章 施設の概要と維持管理方法

第1節 用水施設関係

1) 用水施設の種類、規模及び維持管理の方法

（1）用水路（開水路）

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 方 法	備 考
支線	ベンチフリューム（BF） 250×175～500×320	12,455.8 m	足羽三ヶ 土地改良区	日常点検、軽微な補修、泥上げ等は各集落、整備補修は土地改良区で実施する。	
	鉄筋コンクリートフリューム 300×300～1750×450	2,043.2 m			
	現場打コンクリート 260×220～1500×1000	542.5 m			
	門型 300×600～1000×900	245.0 m			
	ボックスカルバート 350×200	26.9 m			
合 計		15,313.4 m			

（2）用水路（パイプライン）

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 方 法	備 考
支線	硬質塩化ビニル管 φ 150	74.3 m	足羽三ヶ 土地改良区	日常点検、軽微な補修は各集落、整備補修は土地改良区が実施する。	
合 計		74.3 m			

第2節 排水施設関係

1) 排水施設の種類、規模及び維持管理の方法

(1) 排水路

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 方 法	備 考
幹線	ブロック積 1500×700～4400×1200	942.1 m	足羽三ヶ 土地改良区	日常点検、整備補修、 泥上げ等は土地改良区 が実施する。	
	アーム柵渠 1900×800	329.0 m			
合 計		1,271.1 m			

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 方 法	備 考
支線	ポリエチレンダブル管 φ300～φ1100	2,989.4 m	足羽三ヶ 土地改良区	日常点検、軽微な補 修、泥上げ等は各集 落、整備補修は土地改 良区が実施する。	
	排水フリューム (HF) 300×300～1000×900	2,566.6 m			
	門型 300×900～1000×1300	368.6 m			
	アーム柵渠 500×500	84.1 m			
	現場打コンクリート 450×300～1500×800	82.5 m			
	ベンチフリューム (BF) 250×175～300×200	67.5 m			
	ヒューム管 φ700	49.6 m			
	鉄筋コンクリートフリューム 200×170	45.6 m			
合 計		6,253.9 m			

第3節 農業用道路関係

1) 農業用道路の種類、規模及び維持管理の方法

(1) 農道

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管 理 方 法	備 考
農道	アスファルト舗装 W=1.9(1.4)～6.0(5.0)	8,450.8 m	足羽三ヶ 土地改良区	日常点検、軽微な補 修、草刈り等は各集 落、整備補修は土地改 良区が実施する。	
	砂利舗装 W=1.8(1.3)～2.3(1.8)	257.5 m			
合 計		8,708.3 m			

第4章 費用の概算

年間維持管理費	1,467 千円	※ 別添参考資料参照
---------	----------	------------

第5章 効 用

減産防止額(年間)	5,635 千円	※ 別添参考資料参照
-----------	----------	------------

第6章 他の事業との関連

団体営圃場整備事業 脇三ヶ地区 (S45～S48)

県営かんがい排水事業・一般型 足羽地区 (S56～H6)

県営基幹水利施設補修事業 足羽川地区 (H7～H9)

県営農業用水再編対策事業 (地域用水機能増進型) 足羽川頭首工地区 (H10～H20)

県営経営体育成基盤整備事業 (土地総) 足羽三ヶ地区 (H14～H19)

県営基幹水利施設ストックマネジメント事業 足羽川地区 (H28～R3)

団体営基幹水利施設補修事業 足羽川頭首工地区 (R4～R5)

第7章 計画概要図

別 添 の と お り

一 定 地 域 調 書

一定地域調書

市町村	大字	字	地域
福井市	小路町	3～11・14～17・21・22	一円の田
	中毘沙門町	34・35	
	南山町	1～7	
	安原町	2・3・5・7～9・11	
	脇三ヶ町	5・6・8・12・14・18・20・23 24・26～29・32～36・44・46 47	

効 果 関 係 資 料
(維持管理費、減産防止額)

1. 維持管理費の算定（基準年：令和7年度）

(1) 用水路

用水路維持管理費（開水路）	……	$15,313.4\text{m} \times 22\text{円}/\text{m} \div$	337 千円/年
用水路維持管理費（管水路）	……	$74.3\text{m} \times 21\text{円}/\text{m} \div$	2 千円/年

合 計

339 千円/年

※ 令和7年度福井県調査資料により算出

(2) 排水路

排水路維持管理費（開水路）	……	$4,486.0\text{m} \times 79\text{円}/\text{m} \div$	354 千円/年
排水路維持管理費（管水路）	……	$3,039.0\text{m} \times 64\text{円}/\text{m} \div$	194 千円/年

合 計

548 千円/年

※ 令和7年度福井県調査資料により算出

(3) 農道

舗装道維持管理費	………	$26,254.4\text{m}^2 \times 21\text{円}/\text{m}^2 \div$	551 千円/年
砂利道維持管理費	………	$402.3\text{m}^2 \times 72\text{円}/\text{m}^2 \div$	29 千円/年

合 計

580 千円/年

※ 令和7年度福井県調査資料により算出

年間維持管理費

1,467 千円/年

※ 上記の金額は事業作成時のものであり
変動することがある。

2. 減産防止額の算定

(1) 減産防止額

作物名 水 稻

農作物単価 254 円/kg ※ 令和7年度福井県調査資料により算出

単位生産量 529 kg/10a (福井市)

水 稻	
年 度	福井市
	10a収量
令和2年度	532 kg/10a
令和3年度	528 kg/10a
令和4年度	531 kg/10a
令和5年度	511 kg/10a
令和6年度	542 kg/10a
平 均	529 kg/10a
受益面積	81.0 ha
本地率	98.5%

※ 北陸農林水産統計年報福井県より算出

$$\begin{aligned}
 &1) \text{ 用水管理効果} : \text{水稻の水管理効果で減収率は2\%を標準とする。} \\
 &\text{減産防止額} = \text{受益面積} \times \text{作付率} \times \text{本地率} \times \text{単位生産量} \times \text{農産物単価} \times \text{減収率} \\
 &= 81.0 \text{ ha} \times 65.7 \% \times 98.5 \% \times 529 \text{ kg/10a} \times \\
 &\quad 254 \text{ 円/kg} \times 2 \% \\
 &= 1,409 \text{ 千円}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 &2) \text{ 排水管理効果} : \text{水稻の乾田化効果は6\%を標準とする。} \\
 &\text{減産防止額} = \text{受益面積} \times \text{作付率} \times \text{本地率} \times \text{単位生産量} \times \text{農産物単価} \times \text{減収率} \\
 &= 81.0 \text{ ha} \times 65.7 \% \times 98.5 \% \times 529 \text{ kg/10a} \times \\
 &\quad 254 \text{ 円/kg} \times 6 \% \\
 &= 4,226 \text{ 千円}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 &\text{減産防止額} = 1) + 2) \\
 &= \boxed{5,635 \text{ 千円}}
 \end{aligned}$$

※ 上記の金額は事業作成時のものであり
変動することがある。

令和7年度における経済効果算定の考え方

福井県調査資料

維持管理

計画経費

R6諸元調査(維持管理費)より

工 種	区 分	係 数	備 考
用 水 路 (開 水 路)	受益: 50ha未満	20 円/m	延長当り
	受益: 50～100ha未満	22 円/m	〃
	受益:100～200ha未満	25 円/m	〃
	受益: 200ha以上	40 円/m	〃
用 水 路 (管 水 路)	受益: 50ha未満	18 円/m	〃
	受益: 50～100ha未満	21 円/m	〃
	受益:100～200ha未満	24 円/m	〃
	受益: 200ha以上	25 円/m	〃
排 水 路 (開 水 路)	受益: 50ha未満	75 円/m	〃
	受益: 50～100ha未満	79 円/m	〃
	受益:100～200ha未満	87 円/m	〃
	受益: 200ha以上	80 円/m	〃
排 水 路 (管 水 路)	受益: 50ha未満	65 円/m	〃
	受益: 50～100ha未満	64 円/m	〃
	受益:100～200ha未満	77 円/m	〃
	受益: 200ha以上	－ 円/m	〃
農 道	A s 舗装	21 円/m2	舗装面積当り
	砂利舗装	72 円/m2	〃
揚排水機		7,800 円/kW	出力×台数当り
ため池		3.8 円/m3	有効貯水量当り
頭 首 工	固定	32,476 円/m	堤長当り
	フローティング	30,277 円/m	〃

維持管理

電力料金

北陸電力 農事用電力(かんがい排水需要) (調査年: R07.4月時点)

種 別	料 金	備 考
基本料金	577.5 円/kW	①
電力料金	夏季料金	20.47 円/kWh
	その他季	19.92 円/kWh

関西電力 農事用電力(かんがい排水需要) (調査年: R07.4月時点)

種 別	料 金	備 考
基本料金	681.7 円/kW	①
電力料金	夏季料金	9.88 円/kWh
	その他季	8.81 円/kWh

※関西電力における農事用電力の新規受付は廃止されています。

関西電力 低圧電力 (調査年: R07.4月時点)

種 別	料 金	備 考
基本料金	1,132.7 円/kW	①
電力料金	夏季料金	14.35 円/kWh
	その他季	12.86 円/kWh

※新規の場合は上記単価を用いること。

(使用月数×①×kW+使用日数×使用時間hr/日×②×kWh)×消費税率1.10

※但し、低圧電力を使用する場合は、次式による。

(12ヶ月×①×kW+使用日数×使用時間hr/日×②×kWh)×消費税率1.10

令和7年度 県営及び団体営土地改良事業計画の 経済効果測定のための標準値（参考値）について

福井県 農林水産部 農村振興課

1 生産物単価

- 福井県農業総合指導推進会議が示す主要作物の、最近5ヶ年分の県作物別年平均価格を消費者物価指数により換算し、平均した値は以下のとおり。

福井県 (単位：円/kg)

水稻	六条大麦	大豆	そば
254	53	166	268

- 農業物価統計で示す主要作物の、最近5ヶ年分の全国作物別年平均価格を消費者物価指数により換算し、平均した値は以下のとおり。

福井県 (単位：円/kg)

きゅうり	なす	すいか	トマト	はくさい	キャベツ
293	356	235	312	53	70

ねぎ	ほうれんそう	だいこん	えだまめ	さといも	ばれいしょ
342	521	80	744	342	142

やまのいも	ブロッコリー
247	322

※上記の主要作物以外は、別途協議を要する。

2 消費者物価指数

年 度	消費者物価指数
H23	94.7
24	94.5
25	95.3
26	98.1
27	98.3
28	98.3
29	99.0

年 度	消費者物価指数
30	99.7
R元	100.2
R2	100.0
R3	100.1
R4	103.3
R5	106.4
R6	109.4

推定値

※ 消費者物価指数は令和2年度を基準（100.0）とした場合の指数である。

作 付 面 積 及 び 収 穫 量 一 覧 表 (福 井 市)

北陸農林水産統計年報 令和1年～令和6年 福井県

年 度	水 稻		
	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)
令和2年	5,290	532	28,200
令和3年	5,210	528	27,500
令和4年	4,990	531	26,500
令和5年	4,970	511	25,400
令和6年	5,020	542	27,200
計・平均	25,480	529	134,800
備 考	市町村データ		

年 度	六条大麦			大豆			そば			さといも(年間)			だいこん(秋冬)		
	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収 穫 量 (t)
令和1年	886	336	2,970	431	121	522	542	51	276	* 217	* 1,272	* 2,760	23	2,304	530
令和2年	928	329	3,050	412	122	503	555	74	410	* 212	* 1,259	* 2,670	19	2,042	388
令和3年	972	328	3,190	410	160	656	563	38	214	* 209	* 1,268	* 2,650	18	2,117	381
令和4年	1,040	361	3,740	435	126	548	604	27	161	* 208	* 1,370	* 2,850	18	2,006	361
令和5年	1,020	303	3,090	466	119	555	574	67	386	* 205	* 1,259	* 2,580	18	1,544	278
計・平均	4,846	331	16,040	2,154	129	2,784	2,838	51	1,447	1,051	1,285	13,510	96	2,019	1,938
単収区分	市町村データ			市町村データ			市町村データ			福井県データ			市町村データ		

※「*」印のある数値については、福井県全体のデータとする。

現況・計画転作率（ 福井市 ）

北陸農林水産統計年報 令和2年～令和6年 福井県

年 度 \ 項 目	①耕 地 面 積 (ha)	②水稻作付面積 (ha)	③転 作 率 (%)
令和2年	7,800	5,290	32.2
令和3年	7,760	5,210	32.9
令和4年	7,750	4,990	35.6
令和5年	7,730	4,970	35.7
令和6年	7,710	5,020	34.9
平 均 値	7,750	5,096	34.3

現況転作率は過去5ヶ年の平均値とした…………… 34.3 %

計画転作率は最近年の値とした…………… 34.9 %

ただし、計画転作率が現況転作率より小さい値の場合は、計画＝現況としてください。

3. 作物生産効果要因別増収率等（参考）

①増収率

作物名	効果要因			区 分	増 収 率		備 考
					範囲	標準	
水 生 産 増 減 果 稲	作付増減効果	作付増減効果			%	%	営農計画による。
	減産防止効果	干害防止効果					共済資料又は用水不足率等に基づく計算式による。
		水害防止効果					
		水質汚濁防止効果					比較地区の事例又は試験データによる。
		冷害防止効果	冷水温防止効果				
		深水効果					
		その他の効果					
	立地条件	水管理改良効果		用排水施設完備、普通期の用水不足あり	1~2	2	用排水路が完備し普通期の用水不足がない場合の増収率は0%。
		" 不備、" なし			1~2	2	
		" 不備、" あり			2~3	3	
	乾田化効果	グライ層の出る位置		0~30cm	4~8	6	グライ層が50cm以深の場合の増収率は0%。
		" 31~50cm			1~4	3	
					1~10	5	
	転作効果	客土効果					
		作型転換効果					比較地区の事例又は試験データによる。

(付) 関係通知等 — 669

作物名	効果要因			区 分	増 収 率		備 考
					範囲	標準	
水 稲		田畑輪換効果					
		その他の効果					比較地区の事例又は試験データによる。
	品質向上効果	水質保全効果					
		その他の効果					"
畑 生 産 増 減 果 作 物	作付増減効果	作付増減効果					営農計画による。
		減産防止効果					比較地区の事例又は試験データによる。
	減収効果	畑地かんがい効果	湿润かんがい効果	かんしょ 果菜類	10~20	15	
				果菜類	10~20	15	
				葉菜類	5~20	13	
				さといも	20~40	30	
				だいこん	5~20	15	
				豆類	5~10	8	
				たばこ	5~10	8	
				桑	1~10	5	
				茶	5~20	13	
				果樹	10~20	15	
				飼料作物（青刈り）	10~30	20	

(付) 関係通知等

※改訂版 新たな土地改良の効果算定マニュアルより

6 耕地面積（令和6年）

区 分	田畑計	田 耕 地		水田率	畑耕地
	(1)	(2)	本 地	(2)/(1)	
	ha	ha	ha	%	ha
福 井 県	39,500	35,800	34,900	90.6	3,660
福 井 市	7,710	7,300	7,190	94.7	408
敦 賀 市	853	758	718	88.9	95
小 浜 市	1,400	1,280	1,250	91.4	116
大 野 市	4,180	4,030	3,870	96.4	150
勝 山 市	1,900	1,760	1,670	92.6	145
鯖 江 市	2,020	1,950	1,920	96.5	71
あ わ ら 市	3,370	2,580	2,540	76.6	797
越 前 市	3,570	3,390	3,310	95.0	187
坂 井 市	6,570	5,840	5,780	88.9	728
永 平 寺 町	987	926	894	93.8	61
池 田 町	461	405	386	87.9	56
南 越 前 町	1,030	932	894	90.5	98
越 前 町	1,400	1,230	1,180	87.9	170
美 浜 町	815	754	714	92.5	61
高 浜 町	421	345	326	81.9	76
お お い 町	727	648	623	89.1	79
若 狭 町	2,060	1,700	1,640	82.5	358

「耕地面積調査」の結果による。

北陸農林水産統計年報令和5～6年 福井県より

$$\text{本地率} = \frac{7,190 \text{ (本 地)}}{7,300 \text{ (田耕地)}} \times 100 = 98.5\%$$